

次々と訪問販売の餌食に

第10回 夫に先立たれたおばあちゃんの心配

成年後見制度

活用の現場から

先日、夫を亡くした85歳のおばあちゃんとその甥から相談がありました。ご自宅にお伺いしましたが、お部屋の中は、綺麗に片付いていました。

おばあちゃんには、一人息子がいました。その息子は、子どもができないうちに離婚し、10年前に癌で亡くなったそうです。そして今年、夫に先立たれたことで、今後の自分のことが心配になったそうです。

お話を聞いてみると、夫が亡くなってから2週間ほどで、次々と訪問販売が来るようになってきました。そのような場合は、たそうです。そのような場合は、郵便受けや玄関ドアの周りにシールなどが貼ってあると私は聞いたことがあります。訪問販売の業者を見ると「高齢者の一人暮らし」であることがわかるそうです。

私は、玄関に何か目印が無いか探してみました。しかし、特

勝司法書士法人
勝猛一司法書士



1999年司法書士登録。成年後見・相続などに関するセミナーを多数手がけるほか、テレビ出演や、小説「相続請負人」の執筆などで、終活の重要性を解りやすく伝えている。事務所は東京・横浜・大阪の3拠点。詳細は<http://www.katsujudicialscribe.com/>まで。

に物珍しいシールなどは見当たりませんでした。とは言え、すでに不要なものを何点か購入していました。私は、その場ですぐに訪問販売の会社に電話して解約し返金を求めました。

そのほかに、証券会社の勧めでリスクの高い投資信託を購入していました。投資信託は、購入後10日ほどで15%も下落していました。その投資信託も「損をしてでも売って欲しい」とのことだったので、売却の手続きをしました。

次にすることは、亡き夫の相続の手続きです。子供がいないので、夫の兄弟や甥姪までの戸籍が必要です。その上で銀行口座の相続手続きになります。

しかし、とてもできそうにないとこのことで、私どもは、夫の遺産整理の手続きを受託しました。甥の勧めで、夫の財産の相続手続きが済んだら、私どもと任意後見の契約をすることにしました。

法律家の後ろ盾が付くという事は、ご本人にとって大きな安心感になります。また、高齢者を食い物にする輩からすると手が出しにくくなります。

高齢になり今後のことを心配している方が周りにいるときは、早めに任意後見の契約をお勧め下さい。